

第2回 山ノ内町男女共同参画計画推進協議会 議事要旨

開催日・出席者等

開催日時	令和8年2月4日（水） 14時30分から15時10分まで	
場 所	山ノ内町役場 401 会議室	
出席者	(委員)	
	山ノ内町社会福祉協議会長	佐々木 正明
	人権擁護委員	渡辺 松美
	山ノ内町中央公民館長	小林 広行
	教育委員代表	船橋 紀子
	山ノ内町社会教育委員	佐藤 東子
	保育園長代表	種村 淳子
	民生児童委員協議会	関 ひろみ
	山ノ内町保健補導員副会長	青木 久美子
	山ノ内町区長会代表	宮入 勇
	山ノ内町農業委員会委員	望月 美知子
	山ノ内町商工会女性部長	中島 弘子
	町議会議員（社会文教常任委員会）	畔上 恵子
	(事務局)	
	教育委員会生涯学習課長	山本 佳史
	教育委員会生涯学習課人権政策係長	櫻井 美子
	教育委員会生涯学習課人権政策係	堀内 彩香
公開・非公開の別	公開	
傍 聴 者	1名	

協議状況（会議事項）

1. 開会（山本室長）
2. 会長あいさつ（佐々木会長）
3. 協議事項（議長：佐々木会長（協議会設置要綱第6条第1項））
 - (1) 「第6次やまのうち男女共同参画プラン21」の策定について（説明：堀内）
委員あてに事前に配布した素案から、町民意識調査の結果まとめ、プラン本文を抜粋して説明。また、配布後に修正があった箇所を説明。

(質疑・意見等)

委員：誤表記と思われる箇所(アンケート結果の自由記載ページ)が読みづらく感じてしまう。

事務局：ご本人の思いがあると思い、そのまま掲載している。どうしてもおかしいと思う文があれば修正も致し方ない。明らかな誤字等は修正する。

委員：26 ページ「外国人が暮らしやすい環境整備」とあるが、外国人が暮らしやすい環境とはどういうものか？どこまで支援できるのか。外国から働きに来るだけでなく、地域コミュニティ、一住民として活躍、参画できるような環境整備を切にお願いしたい。

事務局：頂戴した思いも含めての内容。関連機関への支援、協力していく思いもある。意見は各課へも共有し、支援については町として十分考えていきたい。

委員：4 ページのアンケートで不思議に思うのが、「男は仕事、女は家庭」と固定する考えについての割合で、よくないと思う人が10代から20代で大きく減っている。

事務局：アンケートの回答率も影響あるとは思うが、結果として受け、今後の啓発の参考にしたい。

委員：これは、10代はまだ学生で勉強の中で男女平等、男女共同参画について知識とはあるが、卒業して仕事をしていく中で会社や社会の立ち位置に触れて考えが変わる部分はあると推測する。

委員：6 ページ「メディアの情報が～」の設問で、70代以上に無回答が多い。わからないではなく無回答がこれだけいるのは、母数の関係なのかかわからないが、70代だけ無回答が多いのが気になる。(感想)

委員：10 ページにある審議会等における女性の登用率が、R2 と R5 で減少している理由を把握していれば。

事務局：審議会は任期で変わっていくが、必ずしも男性と女性で枠を設けていない審議会があるためその関係が率直にあると思う。それでも町で新たに女性課長が2名、また女性係長も増えてきていること、女性の役職を積極的に登用していく姿勢を表す意味で書かせていただいた。審議会はそれぞれ事情があると思うが、各課へ女性の登用の推進について今後も力を入れて、28 ページでも目標値を入れ努力していく。

委員：特に女性の委員に聞きたいが、11 ページの調査結果の項目G「女性自身が責任ある役職に就くのを避けている」に33% そうだと言っているが、理由があるのか。

委員：外からの圧力や、これまでの慣習とか。別にいけないとは言われないが、暗黙の了解のような、心の中で思ってしまったのでは。

委員：そういう慣習や歴史的なものなのか、あるいは避けている原因が心情以外で物理

的にあるのならそういうものを取り除かなければならないと思う。

委員：アンケートの結果でも回答があるが、子どもがいるから出られない、夜の会議はご飯を作ってからでないといけないと、自分も母親なのでそういう理由があると思う。

委員：子どもがいるからとか、子どもの世話は母親の仕事とか、食事は母親が作るものだとか、介護は女性がやるものだとか、そういう意識があるなら意識改革をしていく必要があるのではと思う。

本日、指摘していただいた事項を修正したうえで、この素案を（案）とすることに、全会一致で承認。

今後のパブリックコメントが届いた場合は、正副会長に一任することに全会一致で承認。

4. 閉会